

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 琉球大学病院 (沖縄県)

研修プログラムの名称： RyuMICプログラムA、RyuMICプログラムB、RyuMICプログラムC

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 (年単位換算) 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 (年単位換算) 前年度実績	C-1水準 適用
琉球大学病院	030751	基幹型	沖縄県	960 時間	臨床研修医の宿日直許可なし	約526時間 対象となる臨床研修医31名 (2024年度)	申請予定
旭川医科大学病院	030026	協力型	北海道	700 時間	2~3回/月 ※宿日直許可あり	1名あたり約260時間/年 対象となる研修医54の平均値 (令和6年度)	
沖縄県立中部病院	030746	協力型	沖縄県	1860 時間	月5回	約916時間 対象となる臨床研修医：56名 (2024年度)	適用
中部徳洲会病院	030747	協力型	沖縄県	1400 時間	副直(準夜勤)約8回/月 宿日直許可なし	約1500時間 対象となる臨床研修医20名 (2023年度)	適用
那覇市立病院	030750	協力型	沖縄県	960 時間	月3回 ※宿日直許可なし	495時間	
南部徳洲会病院	030752	協力型	沖縄県	1300 時間	当直 約8回/月 宿日直許可なし	約1009時間(最大1273時間) 対象となる臨床研修医12名 (2024年度)	適用
沖縄県立南部医療センター・ こども医療センター	030754	協力型	沖縄県	1200 時間	月6~7回 宿日直許可なし	約1300時間 対象となる研修医31名 (2024年度)	適用
沖縄県立精和病院	030755	協力型	沖縄県	960 時間	臨床研修医の当直・日直なし	宿日直実績なし	
沖縄県立北部病院	030756	協力型	沖縄県	960 時間	月3,4回	約445時間 対象となる臨床研修医5名 (2024年度)	
中頭病院	030758	協力型	沖縄県	1100 時間	月4~7回程度 (当直・日直・準夜勤含む)	1116時間 対象となる研修医 24名(2024年度)	適用
ハートライフ病院	030760	協力型	沖縄県	1300 時間	月7回 宿日直許可なし	約1300時間 対象となる臨床研修医15名 (2024年度)	適用
友愛医療センター	031015	協力型	沖縄県	1440 時間	月6~8回	約1440時間 対象となる臨床研修医25名 (2023年度)	適用
浦添総合病院	031016	協力型	沖縄県	700 時間	月6-8回 宿日直許可なし	約600時間 対象となる臨床研修医 25名(2024年度)	適用

沖縄赤十字病院	031049	協力型	沖縄県	660 時間	月1～4回 宿日直許可なし	約342時間 対象となる臨床研修医10名 (2024年度)	
北部地区医師会病院	032251	協力型	沖縄県	960 時間	半当直(17:30～23:00)4回～8回程度、日直1回程度、宿日直の許可申請中	約650.5時間 対象となる臨床研修医5名 うち1名7月末研修終了 うち1名12月研修中断(2024年度)	
大浜第一病院	032254	協力型	沖縄県	840 時間	月6回 宿日直許可有	864時間 想定する研修医9名	
糸満晴明病院	032257	協力型	沖縄県	0 時間	研修医の当直・日直・時間外・休日労働なし		
沖縄県立宮古病院	032260	協力型	沖縄県	960 時間	0回	461時間 対象となる臨床研修医4名 (2024年度)	
与那原中央病院	050039	協力型	沖縄県	100 時間	臨床研修医の当直・日直なし	臨床研修医の受入がないため実績値なし	

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度(プログラム開始年度)の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別(基幹型・協力型)、所在都道府県、時間外・休日労働(年単位換算)の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数(宿日直許可が取れている場合はその旨)、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。